

国税庁 酒類業振興関係予算【計28.0億円】

令和4年度当初予算：14.2億円
令和3年度補正予算：13.8億円

1. 新市場創造関係 (1)～(4):22.1億円

(1)新市場創造支援事業 15.0億円

- ① 新市場開拓支援事業費補助金 **補正** 8.0億円
(フロンティア補助金)

【対象となる取組】

- ・商品の差別化による新たなニーズ獲得事業
- ・販売手法の多様化による新たなニーズ獲得事業
- ・ICTを活用した製造・流通の高度化・効率化事業
- ・新型コロナ感染症拡大の影響により顕在化した課題への対応 **拡充**

- ② 日本産酒類海外展開支援事業費補助金 **当初** 7.0億円
(ブランド化・酒蔵ツーリズム補助金)

【対象となる取組】

- ・日本産酒類のブランディング事業
- ・酒蔵ツーリズムによるインバウンド需要開拓事業

(2)日本産酒類の販路拡大・消費喚起推進 **補正** 5.5億円 (Enjoy SAKE! プロジェクト)

酒類事業者団体等による日本産酒類の販路拡大や消費喚起に向けた各種イベント等について、有効な開催手法等のモデル事例の構築

(3)日本産酒類ブランド化推進 **当初** **一部新規** 1.6億円

地理的表示(GI)酒類のブランド価値向上のためのシンポジウム等(琉球泡盛等のプロモーションを含む)を実施。

上記シンポジウム内において、日本産酒類のブランド化のための方策等のテーマについて、若者の自由な発想によるビジネスプランを対象とした若年層向けビジネスコンテストを開催。

(4)中小企業等経営支援経費 **当初** 0.1億円

活性化・経営革新研修(事業承継セミナーを含む)

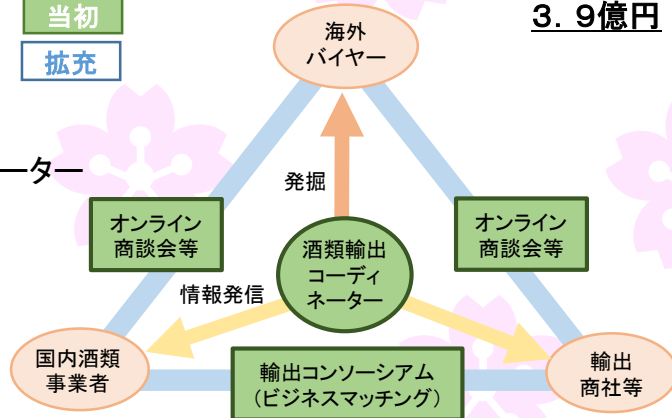
2. 輸出促進関係 (1)～(4):22.5億円

(1)新市場創造支援事業(再掲) 15.0億円

(2)海外販路開拓支援 **当初** 3.9億円

- ① オンライン商談会等 **拡充**
- ② ビジネスマッチング
- ③ 酒類輸出コーディネーター

- ④ 海外バイヤー招聘
- ⑤ 海外市場調査



(3)国際的プロモーション 2.0億円

- ① ジャパンハウス等でのPR **当初**
- ② 海外酒類専門家等育成 **当初** **一部新規**
海外の料理教室と連携し、日本産酒類と現地の食材のペアリングメニューの開発やレッスンを通じた認知度向上を実施等。
- ③ ユネスコ登録の機運醸成 **当初** + **補正 (0.3億円)**

日本酒等のユネスコ登録に向けた機運を醸成するための各種PR事業「伝統的酒造り」が登録無形文化財に登録されたことを踏まえ、機運醸成への取組を強化。

(4)日本産酒類ブランド化推進(再掲) 1.6億円

(注)この他に令和4年度予算において、以下を計上。

- ・酒類総合研究所に対する運営費交付金【10.1億円】(ブランド価値向上等に資する研究、国内外への情報発信強化等)
- ・日本酒造組合中央会の國酒振興事業に対する補助金【6.0億円】(輸出戦略を踏まえた活動事業費、海外サポートデスクの増設、イベント等を通じた消費者に対する情報発信等)